

顧客がAIに相談するとき、 御社の名前はおすすめに挙がりますか？

検索で1位でも、AIには選ばれない。いま選ばれている会社は、何が違うのか。

食と免疫、腸内環境を題材に、AIが実際にどう答えているかを実測しました。

原料を探す。受託先を探す。装置や試薬を選ぶ。共同研究の相手を探す。

その最初の一步が、検索からAIへの質問に変わり始めています。

では、探される側としての御社は、AIの答えに入っているのでしょうか。

これまで

Google検索で探す

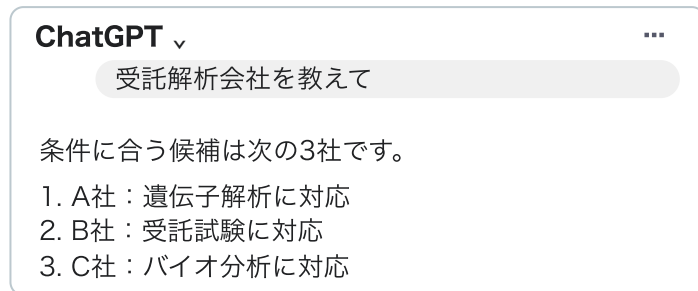


多数の検索結果から、自分で絞る

※画面はイメージです。社名・内容は架空です。

いま

ChatGPTに条件を伝えて相談する



提案された2～3社へ問い合わせ

顧客が目にする候補は、数十社から2～3社に絞られるようになりました。
その2～3社に入っていないければ、顧客に検討されることすらありません。

このセミナーで分かること

いま、AIはどんな会社をおすすめしているのか

選ばれる会社と、選ばれない会社は、何が違うのか

自社の研究成果を、どのように情報発信すればAIに選ばれるのか

プログラム

- 17:00 探す側から、探される側へ — 今日やること
- 17:10 AIは広く中立な免疫研究のキュレーターになる（辻 典子）
～エビデンス・アクセラレーターとしてのAI～
- 17:20 実際に聞いてみる — AIがすすめた会社、すすめなかった会社
- 17:35 おすすめられた会社と、出てこなかった会社 — ページの何が違うのか
- 17:50 自社の研究成果を、どう発信するか

登壇者

辻 典子（つじ のりこ）／農学博士



十文字学園女子大学 人間生活学部
食品開発学科 教授
株式会社フードメディシン研究所 代表取締役

「毎日の暮らしから 免疫をご機嫌の科学に」

食品免疫学・粘膜免疫学が専門。

Yale大学医学部、産業技術総合研究所を経て現職。

富士川 凛太郎（ふじかわ りんたろう）
／博士（工学）



株式会社simpleA 代表取締役

日立製作所を経て、2025年まで腸内細菌スタートアップの取締役。現在は食品・ライフサイエンス企業を中心にAI検索対策のコンサルタントに従事。

日時 2026年11月12日（木）17:00-18:00

形式 オンライン（Zoom）／お申込みの方に視聴URLをお送りします

参加費 無料／定員100名

対象 製薬・バイオ・医療機器・受託解析・分析機器・素材メーカー、
および大学・研究機関の、研究開発／事業開発／広報・マーケティングのご担当者

主催 株式会社simpleA / お問い合わせ info@simplea.cc